

皆さんのエコ活動を応援します！

相模原市立環境情報センター

環境情報センターは皆さんが環境について学習、活動を行ったり情報を得たりするための施設です。お気軽にご利用いただき皆さんの学習や活動にお役立てください。

環境情報センターの運営者が変わりました

4月より相模原市立環境情報センターの指定管理者として株式会社ウィッツコミュニティが施設を運営させていただくことになりました。相模原市の環境保全・環境教育に貢献することを目的に、普及・支援活動を行なっています。引き続き、利用者の方の環境について「知りたい・学びたい・活動したい」が実現できるよう、専門的知識を持った職員の増員、新しい講座の開催など、柔軟で創意あるサービスの提供を目指していきます。

環境情報センターの取り組みを一部ご紹介！

「環境講座」の実施

地球温暖化・生物多様性・消費削減など環境問題や専門的な知識を学べる講座を開催しています。対象は成人の方だけでなく、お子様とご家族と一緒に環境問題へ興味を持ってもらえるイベントなども実施しています。



相模原市自然環境観察員制度の運営

多くの方に身近な自然環境への関心を持っていただくことを目的に自然環境観察員を募集、市内の植物・野鳥・河川生物・湧水環境などを対象に、調査や学習会を行っています。



「エコネットの輪」の運営

市民活動団体・事業者・大学・行政などから、環境学習プログラムや環境情報等を提供していただき、学校や地域で行われる環境学習や活動をサポートしていくシステムを運営しています。

環境情報センター NEWS

夏号

平成29年7月1日発行

発行：相模原市立環境情報センター

指定管理者 株式会社ウィッツコミュニティ

田んぼは生きものでいっぱい！

さがみがわ 相模川に近い開けた場所には田んぼが広がっているよ。

田んぼはお米を作る場所だということは知っているよね。

田んぼについてよ〜く調べてみると他にも大事な役割があるんだ。

水をためて洪水を防ぐ。

水をきれいにする。

お祭りなど伝統的な文化を育む。

ゆたかな土を作る。

たくさんの生きもののすみか。

FAO(国際連合食糧農業機関)は地球上で生きものにとって特に大切な環境を3つあげています。サンゴ礁、熱帯雨林、そして田んぼです。湿地を守るための国際条約の一つ、ラムサール条約でも田んぼを守っていかようとしています。※FAOは世界中から飢えで苦しむ人を無くして、良い生活ができるように働いている国際機関です。※条約は国と国の間で取り決める約束です。

環境のちょこっと話 No.27

「お米を食べて田んぼの生きものを応援しよう」

東京オリンピックをひかえ、有機栽培で育てられた農産物に注目が集まっています。農薬を使わないで栽培すると、今回紹介した田んぼに暮らす多くの生きものを元気にすることができます。日本の田んぼに暮らす生きものは、5,668種もいます。

戦後、農薬や化学肥料をたくさん使うようになり、機械化が進み、田んぼの水を抜きやすくする工事が進められ、田んぼの生きものはだんだんかた身がせまくなっています。一方、トキ、コウノトリ、ガン、タゲリなどの生きものが、共に暮らせるように工夫しながらコメ作りに取り組む農家や地域がふえています。千葉県のかみ市では、2017年から子どもたちが給食で食べるお米すべてが無農薬栽培のお米になりました。

生きものを育む農法で作られたお米を、わたしたちが積極的に選んでたくさん食べると、農家の人ももっとがんばって作ってくれるようになります。すると、田んぼの生きものも今よりもっと元気になります。お米は値段が高い！と思っている方も多いようですが、高級米でもお茶わん一杯40円くらいです。

お米を食べて、田んぼの生きものを応援していきましょう！



相模原市立環境情報センター

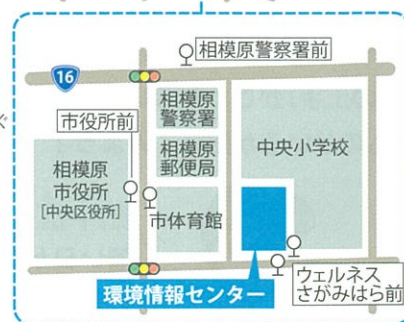
〒252-0236
相模原市中央区富士見 1丁目3番41号
TEL. 042-769-9248 FAX. 042-751-2036

- Eメール kankyo@eic-sagamihara.jp
- ホームページ <http://eic-sagamihara.jp/>
- 開所時間 午前9時～午後5時
- 休所日 毎週木曜日、年末年始、施設点検日



交通

- JR相模原駅から
 - ① 徒歩約20分
 - ② バス「市役所前」下車徒歩1分「ウェルネスさがみはら前」下車すぐ
- JR上溝駅から
 - ① バス「市役所前」下車徒歩1分
- 車でお越しの方
環境情報センター及び周辺の市役所駐車場をご利用ください(2時間までの駐車は無料)
なるべく公共の交通機関をご利用ください。



センターニュース夏号はいかがでしたか？みなさまのご意見ご感想をお寄せください。お待ちしております



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用により立派な紙です。

さが 田んぼの生きものを探してみよう!

田んぼはもともと、ぬまや湿地だった場所を上手に使ってイネを育てています。メダカやドジョウ、カエルの仲間などのたくさんの水辺の生きもののお家です。どんな生きものがいるのか？どんな田んぼが生きものが多いのか観察してみましょう。

さがみエコはらなかま → 「田んぼの体験学習」
相模原市立川尻小学校 5年生

今回は5月30日にあった川尻小学校5年生の田んぼの体験学習どろんこ祭り(代かき作業)の様子をお伝えします。113人で田んぼの中を歩き回って、土のかたまりをほぐす作業です。クツを脱いで田んぼに入ると、ヌルン、ピチャ、ドボン、いろんな音がします。水面をのんびり泳いでいたアメンボたちも大慌て! 良い土ができますように。おいしいお米がとれますように。みんなで歩いた田んぼはたちまちきれいになりました。あぜの近くではカエルの卵も見つかりました。イネといっしょに大きくなるんだね。秋の収穫が楽しみです。最後にデコボコを平らにならして作業を終えました。

楽しんでみよう
環境情報センターの図書コーナーにあります。
「田んぼの生き物図鑑」
内山りゅう 著 山と溪谷社刊
「科学のアルバム アカトンボの一生」
佐藤有恒 著 あかね書房刊



観察七つ道具

- 水そう用のあみ 生きものをすくい取る
- シュガーポット あみですくい取った生きものを入れる
- ピンセット 生きものをさがしだす
- トレー 生きものを観察する
- 小さなビニール袋 小さな生きものを観察する
- ルーペ 小さな虫を観察する
- ぼうし
- 長そで
- 長ぐつ

農家の人にあいさつしよう!

田んぼには持ち主の農家さんが必ずいます。田んぼの生きものを観察するときは農家さんにあいさつしよう。あぜ(田んぼの土手)がこわれないように気をつけよう。どんな生きものがいるか聞いてみよう!

熱中症に注意しよう

暑い日が続きます。ぼうしをかぶる、こまめに水分をとるなどして熱中症にならないように気をつけよう!

おとなといっしょに行こう

水の中はドロが深い場所、流れの速い場所などあぶない所もあります。気をつけながら観察しましょう!

田んぼはごはんもおかずもとれるぞ

田んぼにすむイナゴ、タニシ、ザリガニ、コナギなどは食べることができます。イナゴは甘露煮、タニシはゴボウといっしょに煮込んだりして食べました。コナギはクセもなく栄養満点の野菜となります。